

水のある風景

当蔵に隠された水源をたどって
蓮小堀（リングムイ）

首里公民館の玄関に、「蓮小堀」という名の小さな蓮の鉢があります。蓮は泥の中から汚れない美しい花を咲かせることから、純粋無垢のシンボルとされています。

今の首里公民館と首里支所がある地には、以前「蓮小堀（リングムイ）」という蓮の葉で覆われた大きな池と、松の木が生い茂る出島が広がっていました。首里城の拡張のため掘り出した場所が池になったという言い伝えから、龍潭と同じ頃（一四二七年）に造られたと考えられます。

六か所ほどの湧水源からなる蓮小堀は、当蔵から山川一帯の水源として調整池の役割を担っていました。一九五八年に蓮小堀が埋め立てられてからは、当蔵で井戸の水が漏れたりあふれたり、大雨で床上浸水が起こるなどのトラブルが相次いだのです。

蓮小堀の水源から湧き出る水は、今も県立芸大の音楽堂の地下を通って、当蔵の水路を流れ続けています。



▲蓮小堀跡（リングムイあと）

古都首里で味わう琉球料理と泡盛

首里当蔵町の美里御殿跡にある「琉球茶房あしびうなあ」は、戦後まもなく建てられた築五十一年の琉球古民家を利用したお店。店内には、一番座から五番座までの部屋があり、沖縄の建築様式をそのまま残した造りになっています。

敷地内の庭は琉球王朝時代の御殿庭園の雰囲気を残し、縁側の席からは緑を眺めながらのお食事が楽しめます。

メニューは、本格的な琉球料理のコースから、気軽に楽しめる沖縄そばやチャップルー料理まで豊富な品揃え。泡盛も首里の酒造所を中心に、様々な銘柄が揃っています。首里散策の際には、ゆったりとした時間が流れるあしびうなあへ是非お立ち寄りください。



「琉球茶房 あしびうなあ」
那覇市当蔵町 2-13 TEL: 098-884-0035
営業時間：昼 11:30～15:00、三時茶 15:00～16:30、夜 17:30～24:00

潤いと癒しのスーヅ小（路地）

首里はスーヅ小（グワー）と親しまれる路地が多いところ。ここ、当蔵町二丁目県立芸大横のスーヅ小では花壇、生け垣等で緑化し、潤いと癒しの景観を創り出しています。スーヅ小の緑化を図るという幸地長次さん始め、そこで暮らす皆さんの草の根的活動であり、そこに「まちづくり」の原点をかいま見ることが出来ます。

二〇〇四（平成十六）年度には「首里当蔵町二丁目のスーヅ緑化活動」として「那覇の景観賞」の栄誉に輝きました。首里地域の皆さんも地元まちづくりの参考にぜひ見学することをお勧めします。



▲美しいラインのスーヅ小

ウグシクだよーり

ウグシク（ウグシク）は首里城のシンボルです。元々は歌謡ですが、首里では今でも親しまれ、この呼び方をしています。

平成21年度 首里城公園「図画・フォトコンテスト」

首里城公園では、「魅力溢れる首里城公園」をテーマに図画・フォトの作品を募集します。夏休みを利用して、家族やサークル仲間、お友達と首里城を訪れて、あなたの感じた「首里城の魅力」を作品にして応募してください。



▲平成20年度図画・フォトコンテスト受賞者

- テーマ** 魅力溢れる首里城公園
- 対象作品** 平成20年10月1日（水）～平成21年9月15日（火）の期間中に撮影した写真、あるいは描いた図画
- 作品募集期間** 平成21年7月15日（水）～9月15日（火）（予定）
- 応募資格及び各部門**
 - ・図画（小・中・高・一般部門）
 - ・フォト（中・高・一般部門）



企画展 江戸時代の琉球 ～江戸上り 琉球人使節がやってきた！～

開催期間：7月3日（金）～10月8日（木）
●江戸上り関連及び薩琉関連資料の企画展
薩摩及び日本と琉球の関係を示す資料・江戸上り行列図・江戸上りに参加した琉球人の書跡・絵画資料を展示して江戸時代の琉球と日本の交流を紹介する。



▲江戸上り行列図（琉球入朝図引）

●鎖之間呈茶サービス
利用時間：9:00～18:00
（ラストオーダー17:30）
料金：お一人様 ￥300

お申し込みは鎖之間入口にてお受けしております。混雑時にはお待ち願うこともありますのでご了承下さい。※電話による予約は行っていません。

首里城の「朱」を守るために

首里城公園は、1992年に開園して以来、17周年を迎えます。現在、首里城のイメージカラーとなっている「朱」色を守るために漆の塗り直しが行われております。首里城の「朱」を次の世代へ引継ぎ守るため、事業へのご理解、ご協力をお願いいたします。※この事業は、国営沖縄記念公園事業で実施しています。



「書院・鎖之間庭園」国の名勝指定へ答申

首里城公園にて、皆様にご鑑賞いただいている「書院・鎖之間庭園」がこの度、国の文化審議会により、国の名勝指定へ答申されました。書院は往時、国王が日常業務を行った建物であり、鎖之間は懇談する施設だったといわれています。ぜひ、この機会に、鎖之間内で行われている呈茶サービスと併せて庭園もご鑑賞ください。



首里かわらばん

首里には、かつての王都として落ち着きあるたずまいと歴史文化があると共に、たくさんの魅力ある首里人（すいんちゅ）がいます。この首里かわらばんでは、地域で活躍している人々たちを紹介していきます。

特集 結束力に支えられて広がる 当蔵のまちづくり



首里地域の中心に位置する首里当蔵町。伝統行事をはじめ、新たな催しや行事を通して町を元気にしようとする様々な取り組みが行われています。自治会長の宮城政雄さんにお話を伺いました。

歴史や文化に新しさを加えた 当蔵オリジナルの地域行事

当蔵町自治会には青年会や子供会のほか、男性を中心とする「ユンタク会」や女性を中心とする「ジュの会」があり、伝統行事や清掃などの自治会活動を支えています。他市町村へ引越した人々の参加

も多く、町の団結心は非常に強いと宮城会長は自負しています。

自治会の伝統行事には、旧暦九月九日「安谷川御嶽」を巡る「重陽の祈願」があります。新しい行事や催しにも意欲的に取り組むことで、地域のまとまりが生まれています。

二〇〇五年、当蔵のお年寄りのトウシビー（生年）祝いに、モノレールを貸し切って首里・空港往復間の「御祝（グスージ）列車」を走らせました。これは県内初の企画だったこともあり新聞にも取りあげられました。〇四年から〇七年には、王国時代に曳かれた「綾門大綱」の復興に参加。〇八年以降は、国頭村辺戸から若水を首里城へ献上する「お水取り」行事にも協力しています。「琉装を身につけると、本当に王国の使者になった気持ちになりました」と語る宮城さん。同時に企画した自治会のバスツアーによって、町民の歴史に対する理解や辺戸との絆が深まったことを実感しています。

▲安谷川御嶽での「重陽の祈願」

首里地区の行事・イベント情報

- ◆市民講座「筆遊び書き 結書教室」
好きな言葉や個人的に描くアートな書の教室
期間：7月（毎週木曜日、全7回、19時～21時）
会場：博物館企画展示室3F
- ◆那覇市歴史博物館
『沖繩初的外交官 田場盛義の生涯 ～これからの沖縄とアジアに生きる～』
会期：7/5（日）～8/4（火）
- ◆沖縄県公文書館
企画展『オペレーション・レッドハット1971 ～沖縄をゆるがした毒ガス移送～』
会期：8/4（火）～10/4（日）
- ◆沖縄県立博物館
夏休み子ども科学展「空飛ぶ勇者たち - 飛ぶを科学する -」
会期：7/16（木）～8/30（日）
会場：博物館企画展示室3F
- ◆七夕恋物語2009
～五感を刺激する大人の朗読コンサート～
朗読：諸見里杉子／比嘉周作、琴：ごやかずえ
日時：7月5日開演18：30開場19：00
場所：あしびうなあ
問合せ：沖縄Voice Labo 070-5690-1998

協力機関行事案内

- バックナンバーのお知らせ
■首里かわらばんのバックナンバーがホームページでご覧になれます。首里地域情報ポータルサイト「e首里ドットコム」
URL <http://www.e-sui.com/>
- 1号 石見のまち首里金城町 ■2号 城下町のメインストリート龍潭通り ■3号 首里の旗 ■4号 首里の伝統菓子 ■5号 首里三丁のまちづくり ■6号 備後駅周辺エリア ■7号 琉球の宮廷音楽 ■8号 真和志今昔 ■9号 濁水川・「水」への感謝でつながる絆 ■10号 フクギとともに見えぬ紅型（山川町） ■11号 旗頭に懸せられた勇たち（後原町） ■12号 大中（ウフチュン）の歴史を見守り続けて（大中町） ■13号 首里城は世界で最も大きな漢器



首里かわらばん 第14号
2009年6月発行
編集 首里かわらばん編集会議
発行/事務局 NPO法人 首里まちづくり研究会
903-0812 那覇市首里当蔵町2-13
TEL098-886-8614
<http://happy.ap.teacup.com/suimachi/>
協力 78 タイフーンFM（周波数 78.0MHz）
903-0824 那覇市首里池端町34 2F
TEL050-3539-1178 FAX098-882-2400
<http://www.fmaha.jp/>
タイトルデザイン 石原左内

「遊覧説明板」で地域の再発見を促し、新たなまちづくりのきっかけに

今年三月には、首里駅や儀保駅に向かう沿線に、文化財や植物の「遊覧説明板」を設置。個人の敷地にある歴史資源にも説明板を立てるため、多くの住民の理解と協力を得て無事に設置することができました。

「設置後に子供たちと歴史散策を行ったのですが、龍潭が人工池であることに初めて気づいた子どももいます。身近なまちのことを再認識することはとても重要なことですね」と意義を語る宮城さん。植物に設置された解説もあるので、観光客の立ち止まる姿もみられるそうです。

今後は龍潭通りに人々が集える店舗や憩いの場を設けたいと宮城さんは考えています。「龍潭通り商興会と自治会が協力して龍潭通りを活性化させていきたい。県立芸大とのタイアップなど取り組みたいことはたくさんあります。」

当蔵の結束力で生まれた活動は、宮城さんをはじめ自治会を中心に楽しいまちづくりへ広がっています。